

み い な

みんなで

いっしょに

なかよく



バックナンバーはこちら

誰もが輝く
まちづくりを
めざして

▶問い合わせ 市民協働推進課 ☎0287(62)7019

男女共同参画フォーラム2022

ひとひと 女と男 ともに輝くまちづくり

3年ぶりの
開催でした!



那須塩原市では、男女共同参画社会推進のため、「女と男 ともに輝くまちづくり」をテーマに男女共同参画フォーラムを実施しています。

令和元年度の開催を最後に、新型コロナの影響のため中止が続きましたが、今年度は12月4日に大正堂くろいそみるひいホールにて3年ぶりに開催することができました。

輝きネットなすしおぼらの皆さんが実行委員となり、およそ半年をかけて実施計画、準備からフォーラム当日の運営まで携わっていただきました。盛りだくさんの内容で、来場者の中には、中学生や県外から来た方もいました。



高齢者疑似体験・車いす体験

サポートみらいの協力により、高齢者疑似体験・車いす体験コーナーを設け、開演前に体験できるようにしました。活動紹介のパネルも作成し、団体の活動を周知することができました。



令和4年度 男女共同参画推進事業者表彰式

男女共同参画社会の実現を目指して、女性の積極的登用や能力活用、仕事と家庭生活の両立支援など、男女がともに働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる市内事業者を称えるために設けられた表彰制度です。

今年度は、次の3つの事業者が表彰されました。それぞれの事業者の詳細と取組事例は、3月20日発行の広報なすしおぼら内みいな76号で紹介しています。



株式会社 那須電設
(北栄町 494)



株式会社 三和住宅
(太夫塚 1-195)



社会福祉法人 悠々の郷
(下田野 282-6)



おめでとうございます!

表彰
基準

- ①性別にとらわれない能力活用や女性の職域拡大
- ②仕事と家庭生活、その他の活動との両立支援
- ③男女の人権に配慮し、男女がともに働きやすい職場づくり
- ④その他、男女がともに参画できる社会づくりに向けた積極的な取組



映画「二つの光」

徐々に視力を失っていくピアノ調律師の青年が、写真同好会を通じて視覚障害を持つアロマセラピストの女性と出会い、ふたりは次第に惹かれあっていく。気持ちや些細な言葉によるすれ違いを乗り越えて、お互いが自分らしく前に進んでいく物語を、美しい映像で綴った短編作品。

人気の俳優、ハン・ジミンとパク・ヒョンシクの共演が話題となりました。今回の上映を楽しみに県外からの来場者もいました。

講演「ワーママ新聞記者の子育て奮闘記 ～『女性初』の時代を生きて～」

講師 ^{こしむら かよこ}越村 佳代子氏(元朝日新聞論説委員)

朝日新聞社宇都宮支局にも赴任経験のある越村佳代子さんによる講演。

入社当時は女性記者がとても少なく、男性から下に見られることも多かったとのこと。結婚と出産を経て、子育てと仕事の両立をされていた頃のお話や、仕事においては夏の甲子園取材記者をはじめ「女性初」の役職や仕事に携わる機会が多かったことなど、「女性初」の時代に経験されたことをとてもわかりやすくお話ししていただきました。

市内の大山元帥墓所に眠る大山捨松さん(陸軍中将大山巖氏の妻)は、津田梅子さんとともに渡米した「女性初」の留学生なのだそうです。

定年退職した現在も、娘さんの子育てに協力しながら、資格取得やレッスンに精力的に励まれている越村さん。語り口に惹きこまれ、あっという間の1時間でした。

越村 佳代子氏



お楽しみ抽選会

フォーラムの最後は、お楽しみ抽選会を実施しました。

入場整理券に記載されている整理番号でくじ引きをし、当たった人には「那須塩原ブランド」から厳選した豪華賞品がプレゼントされました。初の試みでしたが、抽選会も大いに盛り上がり、盛況の中フォーラムの幕を下ろすことができました。

那須塩原ブランドは右のQRコードから市のホームページで見ることができます。



コロナ禍での開催でしたが、入り口での検温・手指消毒、コロナ対策グッズ(除菌シート、マスク)の配布、使い捨て鉛筆の使用、アンケートのウェブ回答など、感染対策に万全を尽くしました。

